

お客様各位へ

新型コロナウイルス感染症第4波に伴う対策について

新型コロナウイルス感染症第4波により全国的なパンデミック状態が続いております。

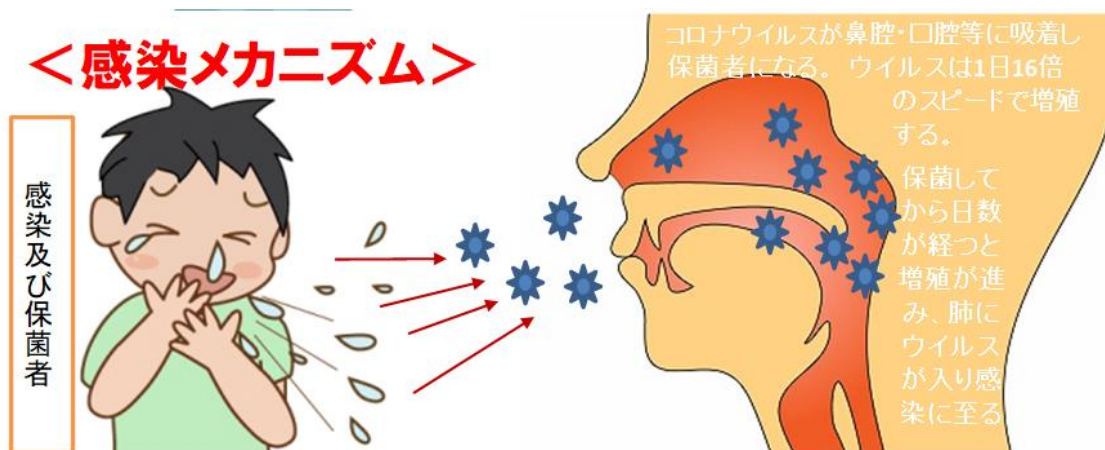
特に沖縄県は各都道府県と比較しても最も異常事態な状況に陥り、県として緊急事態宣言を延長し、収束を図ろうと努力しておりますが、中々先が見えない状況です。

この状況を少しでも打開できないかと弊社で専門家文献を検証しました。

その中で、新型コロナウイルス感染症に至るまでのメカニズムを調べてみると飛沫感染（マイクロ飛沫）が殆どの様に思えてきました。

今、国や都道府県でも3蜜防止や手洗い、マスク着用を徹底するよう呼び掛けておりますが無症状感染者や保菌者は自己が新型コロナウイルスの陽性者としての自覚がなく日常生活をおくっており、その中で通常に会話しながら新型コロナウイルスの飛沫を放出、他者へ暴露し感染拡大に繋がっているのではないかと考えます。

専門家文献によると新型コロナウイルスの感染に至るまでのメカニズムは、その感染者（無症状者、保菌者含む）からウイルスを暴露した際、一旦、鼻腔・口腔内等に吸着し6時間間隔で増殖し、1日で16倍に増え、日数経過より膨大に増殖した新型コロナウイルスが体内に侵入し感染に至るようになります。



日常生活中、自分自身が何時暴露したか分からない状況の中で、如何に感染防止策をとるかが重要です。

常日頃の生活の中で新型コロナウイルスを自分自身が暴露したものと想定し、鼻腔・口腔内に留まっている状態で除菌してしまえば、感染リスクを大幅に軽減できるものと考えます。

鼻腔・口腔内に吸着した新型コロナウイルスを除菌するのに推奨したいのが電気分解型「弱酸性次亜塩素酸水」です。

次亜塩素酸水は歯科医師が口腔内の除菌に活用している除菌水で、安全性も確保されております。(参考資料：[口腔内の細菌を除去する次亜塩素酸水 | メディカルコラム | 人間ドック・検診・三大疾病予防は東京国際クリニック \(tic.or.jp\)](http://www.tic.or.jp))

弊社では、まず働く従業員を守ろうという取り組みで以下の図のように進めております。



50~80 ppmの電気分解型弱酸性次亜塩素酸水を直接、鼻腔・口腔内に噴霧し除菌する。(回数は日2~3回程度)



鼻うがい



うがい

日に1回「80ppmの電気分解型弱酸性次亜塩素酸水を3倍に薄め」うがい、鼻うがいを行うよう指導し、感染対策に努めております。

安全で安心して使える「電気分解型 弱酸性次亜塩素酸水」の活用を今一度検討頂ければと思います。

お問い合わせ先

共栄ビル整備株式会社

TEL：098-936-5070

E-mail：kyoei-bidg@view.ocn.ne.jp



http：



おきなわ SDGs パートナー